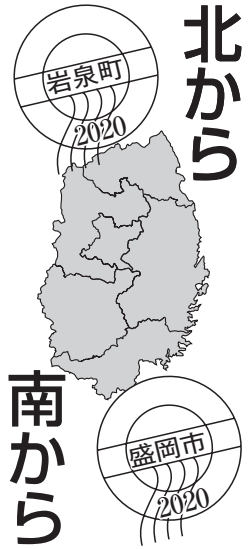


特色あるPTA



親子の心をつなぐ 文集「志ぶき」

岩泉町立小本小学校PTA

小本小学校は、東日本大震災津波により校舎一階が浸水。五年間の仮校舎生活。さらに平成二十八年には、台風十号豪雨により学区が洪水被害を受けました。度重なる災害に見舞われてきました。が、これまで各地の皆様よりいただいたご支援に支えられ、子ども達は、元気に頑張る姿を見せてきています。



第38集となる親子文集「志ぶき」

本校のPTAの特色ある活動として、親子文集「志ぶき」があります。年度末に親子で思い思いに所感を書き綴り、全校まとめて一冊の文集を作ります。毎年、原稿作成にどのご家族も頭を悩ませますが、「志ぶき」は、昭和五十九年度に初刊発行以来、今年度で第三十八号を迎えます。文集のページをめくるとそこには、子ども達の頑張りや思い出。そして、子どもの成長に寄せる保護者の愛情あふれる思いが綴られています。普段、言葉にして言えない親の思いが子どもに伝わることで、子ども達はまた新しい学年に向けての意欲を高めます。残念ながら、卒業生の中には震災津波で、それまで大切に保管してきた文集を失ってしまった家庭もあります。

親子の心をつなぐ文集「志ぶき」が親子の成長の証として、さらに大人になっても繰り返し読み返され、各家庭で

「つながり」を大切にしたいPTA活動

盛岡西峰学園PTA

大事に残されていくことを願ってやみません。
(PTA事務局 柏崎裕子)

盛岡西峰学園は、盛岡市立土淵小学校と盛岡市立土淵中学校が同じ校舎の中で教育活動を行う施設一体型小中一貫教育校です。今年度で開園して四年目です。一年目は小学校、中学校それぞれでPTA活動を行っていました。二年目からは盛岡西峰学園PTAとして一つの組織となり活動を行っています。

その成果を盛岡さんさパレードや小学校の運動会、敬老会等で披露しています。
二つ目は、地域行事への参加とボランティア活動です。土淵地域には六つの自治・振興会があり、それぞれの地域で、資源回収やお祭り、世代間交流会等の行事を実施しています。児童生徒は、行事への参加やお祭りの準備の手伝いをしたり、地域の環境整備作業に協力したりする等、地域との関わりを深めています。

本学園のPTAは、「つながり」を大切にしながら活動を進め、児童生徒の健全育成を推進しています。その活動について二つ紹介します。
一つ目は、土淵地域活動推進協議会と連携した「土淵伝統さんさ」の取り組みです。「土淵伝統さんさ」は、地域の人々が大切に行っている郷土芸能です。「土淵伝統さんさ」の保存・伝承活動には、小学生や中学生、保護者、地域の方々など地域全体が積極的に関わっています。児童生徒は、

このほかにもさまざまな活動を行っています。このように「つながり」を大切にしたいものになっています。このような活動は、地区の方々を知り、そして地域のよさを知ることになり、地域に誇りをもつ子どもたちの育成につながっていきます。そして、この成果を、令和二年の二月に開催された盛岡市教育振興運動実践発表大会で発表する機

「土淵伝統さんさ」は、地域の人々が大切に行っている郷土芸能です。「土淵伝統さんさ」の保存・伝承活動には、小学生や中学生、保護者、地域の方々など地域全体が積極的に関わっています。児童生徒は、

この成果を、令和二年の二月に開催された盛岡市教育振興運動実践発表大会で発表する機



幅広い世代で「土淵伝統さんさ」に取り組んでいます



地域の環境整備に汗を流しました

会をいただくことができました。これからもPTA・学校・地域の「つながり」を大切にしながら活動を進めていきたいと思えます。
(PTA事務局 吉田栄)